

作成日 2024年 4月 5日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	2-メトキシ-4-((E)-プロパ-1-エニル)フェノール 2-Methoxy-4-((E)-prop-1-enyl)phenol
製品名	イソオイゲノール
製品コード	F-019818
SDS整理番号	ZC24089-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	香料、花精油

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(経皮) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 皮膚感作性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(神経系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(鼻腔)
環境に対する有害性	該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害
H312 皮膚に接触すると有害
H315 皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激
H371 神経系の障害のおそれ
H373 長期にわたる、または反復ばく露による鼻腔の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P330 口をすすぐこと。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。
- P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。
- 【保管】
- P405 施錠して保管すること。
- 【廃棄】
- P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別
化学名または一般名

慣用名または別名

CAS番号

分子式 (分子量)

構造式または示性式

成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

化審法:

安衛法:

単一物質

2-メトキシ-4-((E)-プロパ-1-エニル)フェノール

2-Methoxy-4-((E)-prop-1-enyl)phenol

2-メトキシ-4-プロパ-1-エニルフェノール

4-(1-プロペニル)-2-メトキシフェノール

4-ヒドロキシ-3-メトキシ-1-プロペニルベンゼン

イソオイゲノール

イソユージノール

プロペニルグアヤコール

2-Methoxy-4-prop-1-enylphenol

4-(1-propenyl)-2-methoxyphenol

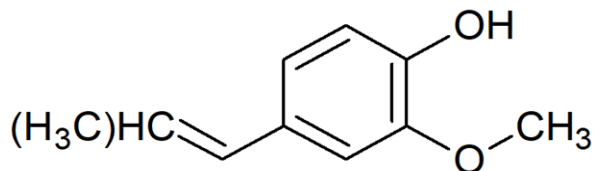
4-hydroxy-3-methoxy-1-propenylbenzene

Isoeugenol

Propenylguaiacol

97-54-1

C₁₀H₁₂O₂ (164.204)



98.0%以上(GC)

(3)-637

公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合には、医師の診察/手当を受けること。

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。

口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

気分が悪いときは医師に連絡すること。

適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置

粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意すること。

関係者以外は安全な場所に退去させること。

消火作業は風上の安全な地点から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。

周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。

消火作業の際は、必ず保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急

個人用保護具を着用すること。

時措置	漏出場所の風上から作業を行い、風下の人を退避させること。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。
環境に対する注意事項 封じ込めおよび浄化の方法および機材	製品が排水路に排出されないよう注意すること。 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収すること。 付着物、回収物などは関係法規に基づき速やかに処分すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い		
	技術的対策	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 適切な保護具を着用すること。
	安全取扱注意事項	粉塵が飛散しないよう注意すること。 粉塵やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いること。 皮膚、眼および衣類との接触を避けること。 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをする。
保管		
	安全な保管条件	容器を密閉し、冷暗所にて保管すること。 施錠して保管すること。
	安全な容器包装材料	酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。 法令の定めるところに従うこと。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 設備対策		設定されていない。 この物質を取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚および身体の保護具	防毒マスク、簡易防毒マスク等。 保護手袋 保護眼鏡。状況に応じ保護面。 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	液体
形状	透明
色	無色 ~ 淡黄色
臭い	クローブ様のスパイシーな香気
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点	-10℃
沸点または初留点および沸点範囲	226℃
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	>100℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	26.7mPa·s(25℃)
溶解度	
[水]	356mg/L
[その他の溶剤]	
可溶:	エタノール、有機溶剤
n-オクタノール/水分配係数(log値)	3.04
蒸気圧	0.012mmHg(25℃)
密度および/または相対密度(g/ml)	1.0730 ~ 1.0860
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし

10. 安定性および反応性

反応性	データなし
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入	(ラット)LD50: 1560mg/kg、および1290-1880mg/kgの報告あり (ウサギ)LD50: 1912mg/kg データなし
皮膚腐食性/刺激性		ウサギまたはモルモットの皮膚に本物質原液を24時間の閉塞適用により強い刺激性あり。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		ウサギの眼に本物質の1%または1.25%アルコール溶液を適用し、1%で軽度の結膜刺激、1.25%で浮腫と分泌物を伴う強い結膜刺激を生じ、それぞれ4日または7日後に眼は正常に回復した。
呼吸器感受性		データなし
皮膚感受性		モルモットのマキシマイゼーション試験およびマウスの局所リンパ節試験でいずれも陽性。
生殖細胞変異原性		マウスに90日間経口投与後の末梢血を用いた小核試験で雄では陰性。
発がん性		データ不十分
生殖毒性		データ不十分
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		ラットに経口投与によるLD50値は1560 mg/kgで、動物は昏睡状態となり衰弱が続き、1週間以内に死亡が発生した。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		マウスに75、150、または300mg/kg/dayの用量で2年間反復経口投与した試験において、全投与群で鼻腔に嗅上皮の呼吸上皮化生、萎縮および硝子滴蓄積の発生率が溶媒対照群と比べ有意に増加し、軽微～顕著なボーマン腺の過形成の発生率も有意な増加を示した。また、ラットに75、150、または300mg/kg/dayの用量で2年間反復経口投与した試験においても、150 mg/kg/day以上で呼吸上皮化生と萎縮、300 mg/kg/dayで嗅上皮変性の発生率の増加が報告されている。
誤えん有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		データなし
甲殻類		データなし
藻類		データなし
残留性・分解性		データなし
生物蓄積性(BCF)		データなし
土壤中の移動性		
n-オクタノール・水分配係数	3.04	
土壤吸着係数(Koc)		データなし
ヘンリー定数(PaM3/mol)		データなし
オゾン層への有害性		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	該当なし
国連分類	国連の分類基準に該当せず。
その他の注意	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。 重量物を上積みしないこと。
緊急時応急措置指針番号	該当なし

15. 適用法令

消防法	第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体
-----	----------------------

16. その他の情報

主な参考文献	安全データシート "イソイゲノール", 職場の安全サイト 2012/03/30 改訂版
--------	---

独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版(2024/04/03アクセス)

ウェブサイト "PubChem" (2024/04/03 アクセス)

安全データシート "Isoeugenol", 東京化成工業株式会社 2022/03/19
改訂版

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の見取り方を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2024年 4月 5日 作成